

定例観察会実施報告書

2024年1月27日(土)

2班 矢野紀美子

実施日	2024年1月14日(日)		
テーマ	冬の甲山森林公園内で冬芽を楽しむ		
コース	甲山森林公園正面入口～みくるま池～シンボルゾーン～甲山なかよし池～正面入口		
集合	午前10時		
解散	午後2時45分 公園内管理棟前		
参加者	ビジター 45名	会員 41名	(2班18名・新入会員8名を含む)

かわいい甲山に見守られながら、快晴の甲山森林公園内を散策しました。

この公園には野鳥がたくさんいます。今回は冬芽を観察しながら時々野鳥を探そうという欲張りな企画のもと、チラシでも双眼鏡をお持ちの方は持ってきてくださいとお伝えしました。

管理棟前を出発しみくるま池に向かう道では、常緑樹のヤマモモとホルトノキの葉や、アラカシとシラカシの葉やドングリの違いを観察し、クサギの冬芽を観察しながらみくるま池へ。カワセミの登場を期待したのですが、残念！！ハシブトガラス(嘴が太い)があたりにいるので姿を見せてくれませんでした。カワセミの絵を用意し、カワセミの羽の色について話をさせていただき、アオサギ、そしてスコープでコガモ・キンクロハジロ・カルガモを観察。

少し戻って、池の周りを巡りながら植物観察。池の縁のあちらこちらにラクウショウ(別名沼杉)の気根があります。イボタ

ノキはまだ緑の葉が残っています。冬芽を見ると緑色と茶色がまだらに見えます。陽の光を受けてネジキの冬芽が赤みを増しています。シャシャンボの黒い実が残っています。花も実もブルーベリーに似ています。葉の裏を触ってみると、確かに主脈に突起があります。エゴノキの冬芽も観察。

あっ！サンシュユの木が何本もあります。球形の花芽がかわいい。リョウブとサルスベリがあります。樹皮が似ていますが、触ってみると違いますね。再び池を巡ります。ハマヒサカキがあります。ヒサカキとの違いを確認。



みくるま池



キンクロハジロ♀



コガモ



カルガモ



ハシブトガラス



マルバアオダモの冬芽



イヌザクラの冬芽



ヤマウルシの冬芽

マルバアオダモ・ヤマウルシ・アオハダそして、太陽の光で赤く輝く「マリリン・モンローの爪」イヌザクラの冬芽を観察。池を一周した後すぐイチゴノキを観察。イチゴに似た実はなくなりましたが、上の方に白い花が見えます。

この森林公園にはカナメモチがたくさんあり、青空のもと、緑の葉に映える赤い実が清楚で美しい。花の季節も来てみたいという声も。ソヨゴの赤い実も見えます。イヌビワの冬芽を観察し、イヌビワコバチとイヌビワの共生関係を説明。

レストハウスに設置したスコープを覗くと甲山のタマミズキの赤い実がはっきり見えます。この時期甲山を眺めると、タマミズキの実の「赤」が目立ちます。



タマミズキを見る



ウラジロノキの大木に赤い実がすずなり。隣のムクノキにも黒く熟した実が残っています。干し柿に似た味で鳥たちも大好きです。

カスミザクラ・オオシマザクラ・コナラ・クリがあります。道から少し外れキササゲを見に行き、その後昼食場所のシンボルゾーンへ。石段にハゼノキの実がいっぱい落ちています、どんな野鳥もこの実が大好き、和ろうそくの原料でもあります。



ウラジロノキ



ウラジロノキの冬芽

少し遅くなりましたが、シンボルゾーンで昼食。座る場所によっては、風が吹くといい香りがします。クスノキの大木と思ったら、ホウショウ（芳樟）です。午後の案内の前に皆様に集まっていただき「ホウショウ」の説明をしました。年末にカラスがホウショウの枝落としをしたため、足元からリナロールのいい香り。これがホウショウの香りです。



ホウショウの説明

午後の案内開始。すると、ホウショウの大木の奥の木にアオゲラが。肉眼で見る人、双眼鏡を取り出す人、カメラのレンズを向ける人。しばし観察。

サクラバハンノキとハンノキの違いを確認した後、北入口に向かいます。

途中、ソシンロウバイが満開。北入口を出て、甲山なかよし池までピクニックロードを歩きます。右手にヌルデ、ハゼノキ、ヤマウルシ。左手にウメモドキの赤い実が見えます。甲山なかよし池への入口の左右にサンシュユとクロモジ。このサンシュユはグミに似た赤い実が鈴なり。ハルコガネ、アキサンゴとも呼ばれていますが今は「アキサンゴ」。クロモジの冬芽は花芽が丸くかわいいですね。

枝に残った枯れ葉が目立つヤマコウバシが目に入ります。葉の手触りは他の枯れ葉とは違いますね。広河原に到着。マルバヤナギ・シンジュ・センダン・ムクノキ・エノキを観察していると、川の対岸にカワセミが姿を見せてくれました。飛ぶ姿も美しい。出会えた班はラッキーでしたね。残念ながら甲山なかよし池に野鳥は姿を現してくれなかったので、帰途につきました。湿原観察園につながる道まで少し登ります。登り口にはタンナサワフタギの幼木が。登りきると北入口の方向へ。左右にイソノキ・ナツハゼ・カンサイスノキ・ザイフリボクがありました。北入口からみどり橋へ。左手の大木を見上げるとブドウ房状の赤い実がぶら下がっていますね。イイギリです。みどり橋の上から下を見るとサクラバハンノキやハンノキが目にはいります。午後のコースは少し急ぎ足で観察していただいたので、予定の時間に管理棟前に到着。午後2:55 発西回りのバスに乗っていただけました。



アオゲラ



ソシンロウバイ



クロモジの冬芽



ザイフリボクの冬芽



イイギリの実